



学校だより



NO.12
東京女学館小学校
令和7年2月7日

百人一首の授業

校長 盛永 裕一

一月十四日から、「すずかけ」で百人一首の授業が始まりました。例年校長が授業を行うことになっていて、今年も全学年・全学級に出かけていきました。このような機会を与えてくださっていることに感謝です。

百人一首とは、約八百年前の鎌倉時代に、藤原定家が古来の秀歌を集めたものです。当時の貴族たちの邸では、室内装飾のために、襖や屏風などに和歌をしたためた色紙を張ることがよく行われていたそうです。いわゆる「小倉百人一首」は、そのために古来の歌々を選び集めたものと言われています。（*）

朝ぼらけ
有明の月と
みるまでに
吉野の里に
ふれる白雪

上は、今回の授業で登場した一首で、作者は坂上是則。夜がほのかに明るくなって、有明の月かと思うくらいに、吉野の里に白々と降っている白雪であることよ。



「有明の月」は、夜明けの空に白々と光っている月のこと。実際には空に月は残ってはいませんが、「みる」の語をあて、まるで有明の月が残っているように思う・判断すると表現しています。私は少しだけ写真を趣味としていたので、この風景が切り取られていることや、それを端的に表現しているこの歌に、感動を覚えます。

子どもたちには、日本の伝統文化に触れてほしい、四季の美しさや恋の心を詠んだ歌を味わってほしい、三十一音に込められた洗練された表現や心情を感じてほしい、このような願いから授業を組み立てています。

百首すべてを授業で一度に扱うのは難しいので、毎年二十首を取り上げ授業で行います。はじめに、百人一首の成り立ちや、短歌の味わい方などを紹介します。そして、いよいよ二人一組になって合戦（ゲーム）をします。一時間の授業では、低学年は二回、高学年は三回合戦ができます。

合戦の中では、子どもたちの様々な様子が見られます。あまり札を取ることができず泣き出してしまったり、泣いてしまった子を必死になぐさめる子、お手付きばかりしてしまったり、同時にとった札を譲り合う姿。たった一時間の授業ですが、そこには多くのドラマがあるものです。

百人一首に触れることは、古人の心に触れ、古典文学の豊かな表現を味わうことにつながります。そして、授業で扱うことになって、お友だちとともに語り合いながら古人の心を探り、合戦を通して人間性を養っていく。そんな営みができることを願っています。

（*）参照 原色小倉百人一首 文芸堂

5・6年生 スキー教室 1月15日（水）～17日（金）

体育科教諭

5・6年生は群馬県尾瀬岩鞍で2泊3日のスキー教室を行いました。スキーの実習は技術班ごとにわかれて、現地インストラクターのレッスンを全4回受けました。今年は雪不足の心配もなく、ゲレンデのコンディションはとても良い状態でした。1日目は乾雪がちらつき、2日目は遠くの山まで見渡せるほどの晴天、3日目は吹雪で折時視界が悪くなりました。毎日天候が異なったため、同じ場所を滑っても、毎回違った雪質や景色を味わい、楽しむことができました。スキーの技術班、部屋で過ごす生活班は5・6年生合同です。6年生は昨年の経験をいかして、多くの場面で5年生に優しく声をかけてあげていました。5年生は6年生の姿をしっかりと見て学んでいたように思います。食事中、部屋での様子はどの班もとても楽しそうで、和気あいあいとしていて、見ていて微笑ましかったです。冬のスポーツを慣れ親しむことに加えて、学年を越えて助け合い、協力するというスキー教室の目的をしっかりと達成できた3日間でした。



私はこの3日間で、スキーがもっとも好きになりました。なぜなら、インストラクターの先生がいつもやさしく、分からないことがあると丁寧に教えてくださったからです。思い通りに滑ることが難しかったり、ゴンドラにのって頂上から降りる時にはびくびくしたりすることもありましたが、みんなや先生の励ましと「曲がるときには右手よりも左手があがっているから気をつけて。」「前を向いて滑ろう。」などの細かなアドバイスで安心して滑ることができました。最後の日は吹雪いて、1時間半ほどのレッスンになってしまい悲しかったです。まだまだ滑りたかったです。こんなにもスキーが大好きになっている自分にびっくりしました。これからもスキーを楽しもうと思います。

5A 児童

1日目はボーゲンとブルークをやりました。先生が丁寧に教えてくださったおかげで思い出することができました。2日目は最高のお天気でした。待っている間に寝転がって上を見てみると、輝いている太陽と真上から降ってくる雪がものすごく綺麗でした。午後には初めてゴンドラに乗り頂上から降りてきました。少し怖かったけれど達成感がありました。3日目はあいにくの天気でしたが、最後まで滑り切ることができました。シュテムターンで少し板を平行にできたと思います。色々な天気の中でのスキーは良い体験となりました。最後の宿泊での校外学習はとても楽しかったです。

6B 児童



5年生「新春の光」



6年生「夢の実現」



3年生「お友だち」



4年生「美しい山」



1年生 硬筆「お正月のあさです」



2年生 硬筆「うれしいお正月です」



書き初め大会 一月二十八日（火）
習字担当教諭
一月二十八日に書き初め大会を行いました。一、二年生は硬筆作品を各教室で書き、体育館では、三、六年生がたつぷりと墨をつけた太い筆を一画丁寧に運んでいました。練習の成果を發揮すべく、一人ひとりの面持ちは真剣そのもの。力強い目の輝きを見せてくれました。
『春の海』の筆曲が流れる張りつめた空気の中で、心洗われる伝統行事を今年も実施することができました。

2年生 プリティッシュスクール交流 1月15日(水) 2年生担任

1月15日(水)にプリティッシュスクール・イン東京(BST)との交流を行い、約100名のBST児童が来校しました。子どもたちは2回目となるBSTとの交流を心待ちにしておりました。パディの子を見つけると名前を呼びあい、久々の再会を喜ぶ子どもたち。体育館では、けん玉や羽根つきの使い方を教えてあげたり、かるたと一緒に読んでみたりと様々な遊びを通して日本文化に触れました。また、「すずかけ」の授業で学んだことを生かして、パディさんに着付けてあげている様子に2年間の成長を感じました。アートではブンブンゴマを制作し、カラフルにデザインしたブンブンゴマをBSTの子どもたちはとても気に入ってくれた様子でした。BSTには遊具が無いので、校庭での遊具を使ったミッションゲームに子どもたちは大喜び。BSTの子どもたちがはじめて挑戦する登り棒にTJKの子どもたちは体育での学びを生かして、アドバイスする姿や男の子のパワーに負けない子どもたちのたくましさを感じる場面もありました。言葉の壁を越え、心を通わせることで、自然と心の距離も縮まり、絆をより深めることができました。

この交流会の経験が今後の子どもの世界に羽ばたいていくための学びへのモチベーションに繋がると願っています。



すずかけ 昔のお話・遊び (1月20日～1月24日)

すずかけ担当

今年度も「すずかけ 昔のお話・昔の遊び」の授業を白菊会会長のU様はじめ、白菊会の方々8名をお迎えして実施いたしました。1・2年生は「あやとり」、3・4年生は「おはじき」、5・6年生は「お手玉」を教えていただきました。短い時間でしたが、あやとりで「ほうき」や「カニ」を作れるようになったり、白菊会の方々二人あやとりをしたりする姿が見られ、楽しく和やかな交流の場となりました。昔のお話では、今と変わったこと・変わらないことなどを質問して、女学館の歴史を学ぶとともに、伝統を受け継いでいく大切さを感じることができました。「卒業生の方々にいつお会いしても恥ずかしくないように、赤いリボンをきれいに結んで登下校しよう」と全校児童が心に決めたことと思います。

今回もたくさんの卒業生の方々にご来校いただきました。この場をお借りして御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

1年A組 児童
むかしの学校のようなすずをおききして、むかしのことが目に見えるようにつたわってきました。たき火ができてやきいもをたべるのができてとてもうらやましかったです。コンピューターがあつていまのほうがいいかもしれないけれど、むかしのあそびも大じにしたいとおもいました。

1年B組 児童
女学かんのおもいでをたくさんきいて、いまはちがうところも、かわらないところもあることがわかりました。わたしもおきゅうしよくのデザートがすきなので、おなじでうれしかったです。
わたしも大人になったら、おはなしをしにこられたらいいなとおもいました。



2年生 あやとり



3年生 おはじき



5年生 昔のお話



4年生 赤いリボンをいつもきれいに結ぶ大切さを教えていただきました。

すずかけ 百人一首 (1月14日～1月30日)

すずかけ担当

「奥山に 紅葉踏み分け 鳴く鹿の 声聞くときぞ 秋は悲しき」

百人一首の授業中、抑揚をつけて上手に読む児童の声が聞こえてきました。今年度も盛永校長先生にご担当いただき、「すずかけ 百人一首」を実施いたしました。低学年の児童は「五・七・五・七・七」と指を折りながら教え、中には字余りや字足らずの俳句があることを学びました。基本的な知識を分かりやすく教えていただいた後、二人一組で対戦しました。普段見る機会のない「ゐ」や「ゑ」などの歴史的かなづかいに触れながら、一生懸命に対戦する姿が見られました。

3年B組 児童

私はずっと百人一首ができるのを楽しみにしていました。800年前に藤原定家があつめたと教えてくださった時に私もいつかあつめてみたいなと思いました。思わずいきおいといっしょに強くふだを取ってしまったので来年は強くやらないようにしたいと思いました。去年よりはお友だちにたくさん勝てたのでうれしかったです。またみんなで百人一首をやりたいです。



1年生 校長先生の読み札を聞き逃さないように集中しています。



6年生は作法室にて行いました。

避難訓練

担当教諭

1月27日(月)

今学期最後の避難訓練でした。さすが女学館生。落ち着いて速やかに避難する姿は大変立派でした。

先週の児童朝会で、校長先生から「阪神・淡路大震災」のお話がありました。今からちょうど30年前、関西地方で起きた大きな地震です。過去に起きた災害を、怖いものとして目を背けるのではなく、教訓としてしっかりと学び、後世に伝えていくことはとても大切なことです。

ご家庭でも折に触れて、自然災害のお話や緊急時の対応についてお話をいただければと思います。

通学路別下校訓練

担当教諭

1月21日(火)

同じ通学路のグループが集まって一緒に安全に下校をする訓練を行いました。1、2学期と同様、体育館に全校児童が集まり、お話を聞いた後、呼ばれた班から静かに昇降口で並びます。今年度、3回目ということもあり、各班慣れている様子で上級生が点呼をとり、人数確認をしていました。下級生にとっても一緒に通学路のお姉様を覚えて心強くなったことでしょう。

これからも助け合って安全に登下校することを続けてほしいと願っています。



美しい日本語の話し方講座

1月20日(月)

6年A組 児童

私は、人前で話すことが苦手です。今回、劇団四季の方々に、話し方教室を開いていただけると知り、とても楽しみにしていました。劇団四季の方々の声は、とても大きくハキハキしていて、すごいと感じました。しかし、学生の頃は、声も小さくおとなしい方だったと聞き、驚きました。授業では、母音だけで文章を話す練習をしました。「おはようございます」という文章を母音だけにすると「おあおうあいう」となり、練習するにつれ、どんどん活舌がよくなった気がしました。その方法で「友達!いいもんだ」の歌を練習し、発生のコツを学ぶことができました。これから中学に進むと発言する機会が増えると思うので、母音を意識して発声することを心がけていきたいです。



2月の行事

- 3日(月) 各委員会(2月分)・展覧会特別時間割～14日(金)まで
- 4日(火) TV朝会・新1年生交通安全教室・第2回保護者会 (14時30分～)
- 6日(木) 私学半日研修会(3時間授業)・軽食
- 7日(金) 体操朝会
- 10日(月) 中学合格者説明会(6年生保護者)
- 11日(日) 建国記念の日・新中1制服採寸・物品販売(6年生親子)
- 14日(金) 展覧会準備
- 15日(土) 展覧会
- 16日(日) 展覧会
- 17日(月) 振替休業日
- 18日(火) 振替休業日
- 19日(水) 後片付け(1～4年生は3校時より登校) 6年生卒業式練習(第1回)
- 20日(木) 6年生保護者会(9:30～講堂)・6年生中学算数授業②
- 21日(金) 体操朝会・クラブ活動
- 23日(日) 天皇誕生日
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) 児童朝会・6年生卒業式練習(講堂)・各委員会(3月分)
- 28日(金) 体操朝会・クラブ活動終了

東京女学館小学校ホームページ <https://t.jk.jp/p/>



2月の生活目標 「きまりを守って休み時間をすごす」

子どもは風の子。冬になっても校庭は、鬼ごっこや縄跳び、リレー、ドッジボールなどをする元気な子どもたちの姿でにぎやかです。図書室や廊下での過ごし方も含め、その場所に合ったきまりを守るとは怪我や事故を防ぎ、安全な学校生活を送ることにつながります。一人ひとりが優先順位を考え、約束や時間を守って休み時間を楽しく過ごせるように声をかけてまいります。